

定例会7月会議

国の第2次補正に伴う予算を議決！

定例会7月会議は、7月9日に開会されました。会議では、一般会計ほか1会計の補正予算の町長提出の2件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

参加者は1名でした。

補正予算の内容

■一般会計補正予算(第4号)

1億4,119万円を追加し、総額43億7,600万9千円となりました。

補正予算の主な内容は、次のとおりです。

○新しい生活様式への移行準備用備蓄品配布事業費

1,893万3千円の追加

○町内事業者向け新しい生活様式準備支援事業費

2,044万9千円の追加

○福島町元気プロジェクト事業費

1,200万円の追加

元気プロジェクトで岩部クルーズ利用者へプレゼントされた特産品セットとアワビカレー（見本）



■水道事業会計補正予算(第1号)

954万9千円を追加し、総額3億2,268万5千円となりました。

議会改革度調査2019 全国1位 情報共有ランキング

早稲田大学マニフェスト研究所（顧問・北川正恭早大名誉教授）が行う議会改革度ランキング2019において、福島町議会が「情報共有ランキング」部門で全国1位の評価を受けました。

研究所報道発表文

「福島町議会の特徴」

議会として、議員個々の政策や、実現状況の自己評価を積極的に住民へ提供しています。これは、議員活動を評価できる情報を提供するとした福島町議会基本条例に沿った議会活動そのものです。

議会・議員の政策立案機能の重要性が増していること、さらには議員選挙における投票率、無投票、なり手不足が問題とされていることから、議会組織としての発信は評価すべき点です。

「全体傾向」

情報共有分野では、事務局職員数や議会費の大きい議会など人的・財政的に力がある議会が有利と思われる中、北海道の町議会によるワンツーフィニッシュという結果でした。

今回設問の大幅見直しにより、議会情報の公開をどれだけ進めたかという「量的な公開度合い」を評価する以外にも、住民と共有する情報の「質」や情報を得ることが出来る「時間」を重要な要素として、調査の設問に落とし込んでいます。ここでは、「本会議・委員会の記録物」といった過去の情報を量的に充実させるだけでなく、議員が議会の中で得ている情報と同じように住民も情報が得られるかが重要となっています。